

土岐川グリーンベルト通信 第15号

平成17年度 検討委員会、担当者会議、新しい活動箇所の報告

土岐川流域グリーンベルト検討委員会が開催されました。

本年度の「土岐川流域グリーンベルト検討委員会」が3月2日(木) 多治見市のオースタット国際ホテル多治見で開かれました。

委員は大学教授、各市の首長、行政関係者ら9人で構成されています。

委員会の内容は、右の3項目として、意見交換を行いました。

委員会の内容

1. モデル地区等における活動状況の報告
2. 樹林整備目標および樹林整備計画について
3. 今後の展開について

主な意見

木を切ることが、悪いことだと考えている人が多い。そういった人達に、樹林整備の必要性をきちんと説明する必要がある。樹林整備を行うに当たって、指導的人材の育成や、学識者などが中心となり、アドバイザー制度の確立を行っていく。自然遷移を尊重し、手を加えながら森を育てる。山の利用方法も多様となるため、利用のルール作りが必要である。



森づくり部会の人達が集まって、担当者会議が開かれました。

森づくりを行っている各部会、行政関連の担当者30人が集まり、「担当者会議」が3月30日(木) 多治見市の産業文化センターで開かれました。

担当者会議の主な内容は右のとおりで、質疑応答時には、今後の森づくりの活動について活発な意見が寄せられました。

担当者会議の内容

1. グリーンベルト事業の事業登録について
2. 各部会の活動内容の紹介
3. 質疑応答

主な意見

子供達に地域としてどう関わっていったらよいかを模索している。他の森の活動状況を見てみたい。おりべの森と、笠原の森の散策路が、多治見市のウォーキング100選に選ばれた。こういった森にしていくのか、各部会でビジョンを持つ必要がある。



広がる森づくり活動

平成17年度の活動では、市の倉森づくり部会から筒小屋の森(旧ハイランドの森)、虎溪山では多治見市桜再生協議会が中心となって樹林整備活動が行われました。

来年度からの活動を目指して、土岐市の土岐津地区において準備会などが行われ、今後の整備活動について話し合いが行われました。

平成18年度は、多治見市・土岐市を合わせて7つの地域に樹林整備活動の輪が広がっています。



■ 虎溪山の活動

平成18年2月25日(土)に多治見市弁天町の虎溪山にて、間伐をメインとした樹林整備活動が行われました。虎溪山で行われるこの活動は、桜を中心とした森づくりを目指し、多治見桜再生協議会のメンバーが中心となって行われました。



■ 土岐津地区の活動

土岐市の土岐津地区では、平成18年度からの樹林整備活動を目指して以下の活動が行われました。

●H17 12月27日 準備会



●H18 2月2日 下見会



●H18 2月28日 ワーキング会議



●H18 3月14日 勉強会

岐阜大学の戸松教授、多治見砂防国道事務所の後藤所長による、樹林整備に関する講義が、土岐津中学校の先生・地域の住民を対象に、土岐津中学校にて行われました。講義後は整備する森に入り、活動に関する意見を聞きました。

戸松教授による講義



後藤所長による講義



作成者・お問い合わせ先
国土交通省 中部地方整備局
多治見砂防国道事務所

〒507-0804 岐阜県多治見市坂上町 6-34

TEL : (0572)25-8024

<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>